



## 式 辞



阿讃の峰に春の気配が感じられる今日の佳き日に

PTA会長                    中川 勝弘 様  
部活動後援会会長        山下 博之 様  
桜陵会会長                真鍋 和三郎 様        のご臨席を賜り

徳島県立池田高等学校第73回卒業証書授与式を、このように厳粛かつ盛大に挙行できますこと卒業生はもとより在校生、教職員にとりましてもの上ない喜びであります。厚くお礼を申し上げます。

ただいま卒業証書を授与されました162名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの心には本校での様々な思い出が、走馬燈のごとく巡っているのではないのでしょうか。

友情と連帯を育んだ校外学習や球技大会、鳴門市やテーマパーク訪問に加え、校内でのゲーム大会を実施するなどして貴重な時間を楽しんだ修学旅行の代替行事、創意と工夫をこらした「東雲祭」汗と感動の体育祭など、皆さんは大きな感動と成果を私たちに残してくれました。

そして「質実剛健」の校訓のもと、文武両道をめざし勉学と部活動に青春のエネルギーを燃焼させ、創立99年という本校の長い歴史に輝かしい一ページを加えてくれました。新型コロナウイルス感染症は今年度も私たちに大きな影響を与えました。「新しい生活様式」の徹底が求められるなか、東京オリンピック・パラリンピックの開催など明るいニュースもあった一年でした。社会の変化の中を駆け抜けた皆さんには時に戸惑うこともあったでしょう。しかしながら皆さんはあきらめることなく柔軟な発想と適切な行動で克服してくれました。

池田高校を巣立っていく皆さんの物事に誠実に取り組む姿勢、目標に向かって努力する粘り強さ、他者への思いやりを忘れない優しい心は池田高校の誇りです。そんな皆さんが残した数々のすばらしい実績と足跡は、後に続く後輩たちにとってよき道しるべになると確信しています。

さて、未来の担い手である皆さんが生きていく社会は、ICT発達によりキャッシュレスや自動決済、自動運転などはもとより人工知能AIがあらゆる分野で存在感を増し「仮想空間」と「現実空間」を高度に融合させる新たな社会、Society5.0を迎えようとしています。こうした社会の変化を受け入れながら、自己の在り方や生き方について考えていかなければならない時代がすでに始まっています。

このような状況であるからこそ、皆さんには自分らしい豊かな発想と柔軟な姿勢で主体的に判断することによって、激変する社会をたくましく生きていく力が求められます。これから一層自分自身を高める努力をしてほしいと思います。

そこで、未来を生きる皆さんへ、今日の佳き門出に当たり三つの話をさせていただきます。

まず、一つ目は「時間を大切にする」ということです。

与えられた時間は皆同じ、大人も子どもも同じように時を刻んでいきます。でもその重たさや大切さは人によって違ってきます。「時間」をどう過ごすかによって、将来が変わり人生が変わります。時間に流されるのではなく、自らの手で自らの時間を刻んでください。皆さんには過去を振り返るとき「あんなことをした せいで こうなった。」という生き方でなく、「あんなことをした おかげで こうなった。」という生き方を選択してほしいと思います。将来を決めるのは「過去」の積み重ねではありません。将来は「今」の積み重ねです。「今」の生き方こそが、過去の価値を変えることを忘れないでください。

二つ目は「明確な目標を設定して行動してほしい」ということです。

人に言われたものでなく、自分が決めた自分が納得したものを人生の目標にしてほしいということです。自分が納得した明確な目標に基づく行動は決して裏切りません。たわいもない日常生活の中で、こつこつと毎日行動することです。日々の積み重ねは必ず皆さんの生き方を左右します。

三つ目は「感謝する気持ちを大切にしたい」ということです。

無事卒業の日を迎えた今、皆さんは共に悩み協力し合った友人やお世話になった先生方、これまで皆さんを育て下さった保護者の皆様に感謝の気持ちで一杯だろうと思います。そして、これからの人生においても多くの人々の援助をもらいながら一人前の社会人に成長していくことでしょう。その過程で、こうした感謝の気持ちを自然に「有り難う」と表現できることが皆さんの人生を豊かにしていくと思います。どうかこれからも周りの人に感謝する気持ちを忘れずに、これからの長い人生を送ってください。

終わりになりますが、保護者の皆様方にはお子様のご卒業を心よりお慶び申し上げますとともに、三年間にわたり本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。今後とも、本校に対する変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さんいよいよお別れです。皆さんが残した「よき伝統」と「爽やかな校風」は後に続く在校生がしっかりと受け継ぎ守り育ててくれるはずです。本校で過ごした三年間は二度と戻ることはありません。しかし本校で過ごした心に残る青春の日々は、必ずや、これからの皆さんの人生を力強く支えてくれるものと思います。皆さんの末永きご健康とご多幸を心から祈念して、式辞と致します。

令和四年三月一日

徳島県立池田高等学校長 林 日出夫